

協働研究「4Rプロジェクト」

4Rプロジェクトとは

2015年7月に相模女子大学と町田市は、「デザインの力で3Rを推進する協働研究に関する協定」を結びました。

「Reduceリデュース」、「Reuseリユース」、「Recycleリサイクル」の3Rに加えて、相模女子大学ではもうひとつのR=「Re-クリエイト(再構築)」つまり「デザインの力」をプラスして4Rとしました。そして、一見面倒と思えるエコをデザインの力で楽しく変える活動を4Rプロジェクトと呼んでいます。4Rプロジェクトの取り組みとして、学生の皆さんが町田市で回収された傘の布を使って、エコバッグを作りました。

今後の展開として、エコバッグの型紙の作成や、4Rによるエコバッグ製作の市民向けのワークショップ開催などを考えています。

- エコバッグを持つことでレジ袋をもらう量が少なくなり、CO₂が減ります
- ごみとなるはずだった傘が再利用され、ごみが減ります

使えなくなったものも、ひと工夫すれば生まれかわることができるんだね!



捨てられた傘の布を使ってエコバッグ作り



5月、6月に市庁舎内のイベントブースと生涯学習センターで展示を行いました。自分が気に入ったエコバッグのデザインにシールを貼るコーナーで、たくさんの方に参加いただきました。



市庁舎内イベントブース(環境月間)

生涯学習センター



地域のみなで

持ち去り行為から みんなの資源を守っています!!

みなさんが出した大切な資源物を近年、無断で持ち去り・横取りする行為が町市内でも起きています。

そのため、町内会・自治会のみなさんが持ち去り防止のために、自主的に巡回パトロールや資源回収場所での監視を行い、持ち去りする者を近寄らせない環境づくりを行っています。

みなさんの資源物は大丈夫ですか？



①参加されているみなさんはいつも和気あいあい(弥生ヶ丘自治会のみなさん)



②地域の人々とコミュニケーションも図っています(鶴川二丁目町会のみなさん)

③青パトと一緒にパトロールしています(小川自治会のみなさん)

弥生ヶ丘自治会のみなさんの取り組み



環境・防犯部長 芦田さん

自主的に参加したみなさんと一緒に、パトロールを行っています。パトロール中に持ち去り行為を見かけた際には、用意しているトランシーバーで連絡をとりあい、すぐに対応できるようにしています。これ以外にも、回収業者と互いに協力する体制を構築する等、工夫をしています。

鶴川二丁目町会のみなさんの取り組み

環境部長 伏見さん

主に回収場所での監視や、年に数回巡回パトロールを行っています。以前は持ち去り被害が多くありましたが、現在はほとんど無くなりました。回収場所での監視の前に地域のごみ拾いもしており、環境美化にも努めています。



小川自治会のみなさんの取り組み



副会長(資源回収担当) 林さん

自治会で独自に警告ビラを作成し、集積所や掲示板に掲示するとともに、出す資源物にも挟み込むことで、持ち去り被害の防止に努めています。パトロールは、巡回パトロールと青パトによるパトロールを併用しています。